

◇日向和田保育園の保護者の皆様へ

平成30年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

子ども一人ひとりの個性と能力を大切にし、人間形成の基礎作りに向けて子どもが自分で考え頑張る姿勢が身につくよう支援しています

「知、徳、体の調和のとれた人間形成の基礎作りに向け努力する」を保育理念とし、非認知能力を身につけることを大切にしています。点数では測れない、目標に向かって頑張る力や周囲とかかわる力、感情をコントロールする力が育つような保育に努めています。うまくいかないときなどは、職員は見守りつつ子どもが自分でやろうとしている気持ちを支えるような声かけをして、頑張る姿勢が身につくよう支援しています。モンテッソーリ教育を基盤に一人ひとりの個別保育を実践し、生きる力が育つような取り組みに保護者も理解を示しています。

具体的でわかりやすい研修計画を作成し、職員が目的を理解して研修に参加できるような仕組みを整えています

具体的でわかりやすい研修計画を作成しています。計画には、園の保育目標を達成することを目的とし、保育園が社会に貢献していく重要な場であること、保育所保育指針をふまえた保育展開により子どもの最善の利益が保障されることを目指すことが明示されています。各職種や役職の研修目的をそれぞれ5項目程度明記し、職員に配付しています。経営層は、職員が受講する研修の社会的意義など広義の研修目的まで理解できるよう指導し、より深い学びになるよう支援しています。

福祉サービス第三者評価結果の保護者の声を一つ一つ検討して保護者に公表するなど、園運営に真摯に取り組んでいます

保護者と子どもの立場に立って保育活動を推進することを大切にしています。保護者の要望や言いづらい不満を把握できるように担任以外の職員でも相談を受け付ける体制を整え、送迎時に声をかけたり相談室で個別に話をしたりしています。また、前回の福祉サービス第三者評価結果の課題改善に取り組み、利用者調査結果を一つずつ検討しました。その回答などは一覧表にして保護者に公開するなど園運営に真摯に取り組んでいます。今回の利用者調査では、保護者の要望に対する園の対応について、おおむね満足している保護者が多く見受けられました。

さらなる取り組みが期待される点

さらなるマニュアルの活用を旨とし、より現場に対応したマニュアルの完成に期待します

当園には、規定やマニュアル一覧があり、定款、規則などに分類されています。これらは毎年年度末に見直すことになっており、職員は今年度の見直しに向けて各自ノートに記録して備えています。一例として現在、看護師が、「衛生、保健マニュアル」を見直しており、中でも、予防接種やリスクの高い感染症に関しては、当園に即した最新のものを作成中です。園は、さらなるマニュアルの活用を考えています。年度末の見直しの際には、職員の意向や要望を反映させるなど現場で活用しやすいマニュアルの完成を期待します。

自己評価項目を明確にし、評価基準についても明示することで、客観的な振り返りが可能になり職員自身の気づきにつながるでしょう

職員は毎年「人事考課シート」に基づいて自己評価を行っています。このシートには職員に実践してもらいたい内容が明示され、複数の取り組みに対して1つの回答を選択し自己評価する仕組みです。しかしながら、自己評価と他者の評価との間に差があり、実践につながりにくいと園では捉えています。シートを見直し、一つ一つの取り組みに対して自己評価ができるようになると、実践の有無が明確になるでしょう。また、一定の業務水準を保つため、自己評価基準を明記するのも一案でしょう。客観的に職務を振り返り、自身の気づきにもつながるでしょう。

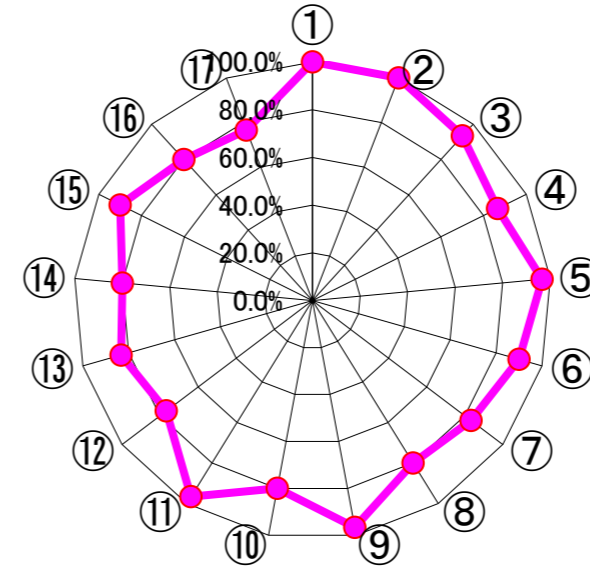
園内研修の構想について検討し、全職員が理解を深めることができるような研修の実現を期待します

園ではより良い保育を旨としてリトミックや影絵などさまざまな園内研修に取り組み、職員の学びとなっています。職員の専門性を追及し、例えば、保育所保育指針の「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」などについて短時間の園内研修を継続して学び、理解を深めたいという構想があります。園で取り組みたい研修とともに、現場の職員が望む園内研修についても意見を出し合ってみてはいかがでしょうか。さらなる職員の質の向上に向けて実現されることを期待します。

利用者アンケート結果概要

実施期間：平成 30年11月17日～平成 30年12月1日

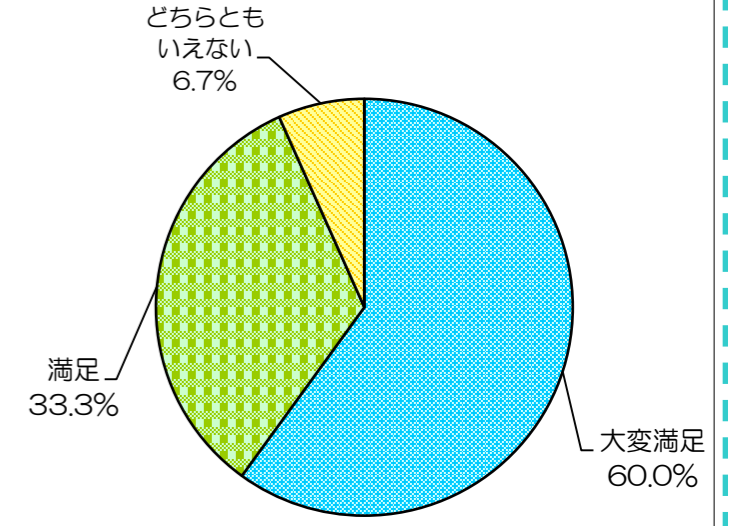
質問別「はい」の回答率



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

園に対する総合満足度の結果



利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）
※結果が公表されるまでに、約一か月かかります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html>
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

日々の忙しい毎日の中で利用者アンケートにお答え頂いた保護者の皆様に感謝申し上げます。この公表結果を職員一同で見直し、真摯にとらえていきます。常に保護者の方が安心してお子様を預けられるような体制を作り、お子様が心も体も真っすぐに成長できるような保育園を目指します。研修や会議等にも取り組み、職員の質と向上を図ります。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
（認証評価機関番号 機構05-149）

